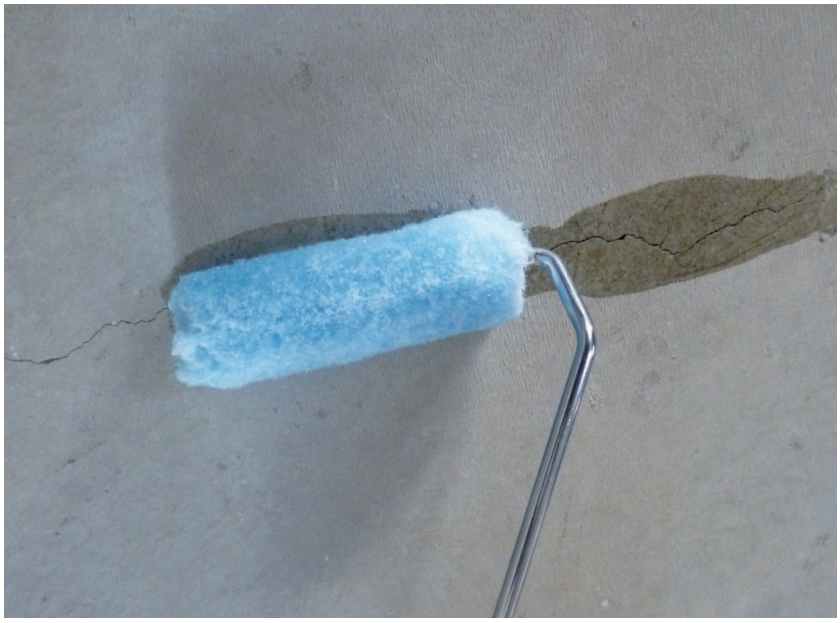
SHO-BOND

ひび割れ注入工法

ひび割れの表面に塗布するだけで内部に
浸透し、接着する塗布型ひび割れ注入工法

SHO-BOND CAP(キャップ)工法

国土交通省新技術情報提供システム(NETIS)登録 KT-120057-VR



▶工法概要

CAP工法は、コンクリート表面の微細なひび割れ部に注入材を塗布することで、ひび割れの深部まで浸透接着します。特別な注入器具を用いることなく、ひび割れ補修ができます。

▶特長

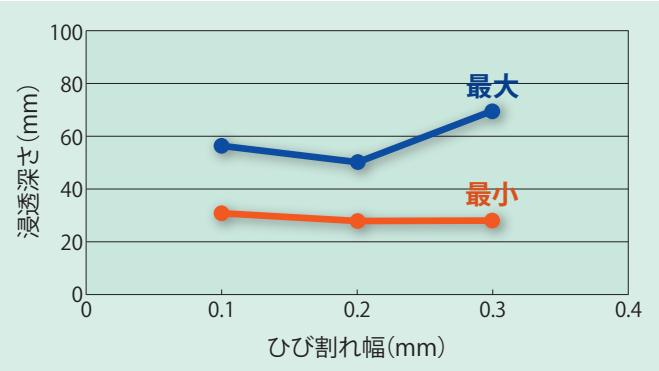
❶注入器具を用いないで、幅0.3mm以下の微細なひび割れを補修できます。
❷ひび割れ表面に注入材を塗布するだけで、毛細管現象によりひび割れ内部に浸透し、接着一体化します。
❸湿潤したひび割れ面の接着性にも優れています。
❹ひび割れ部からの劣化因子を遮断する効果があります。

■補修工学®—— 構造物の総合メンテナンス企業
ショーボンド建設株式会社

ショーボンド CAP工法 ひび割れ注入工法

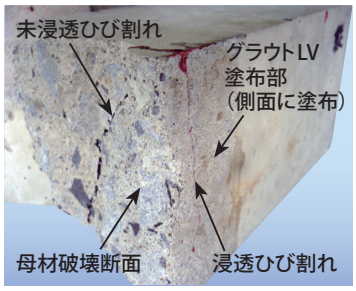
ひび割れ浸透性能

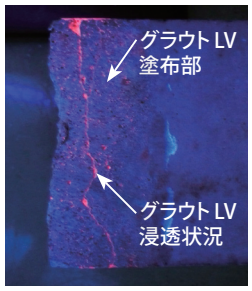
供 試 体：ひび割れ部塗布5回（上向き浸透）
試験条件：曲げ試験（23℃）

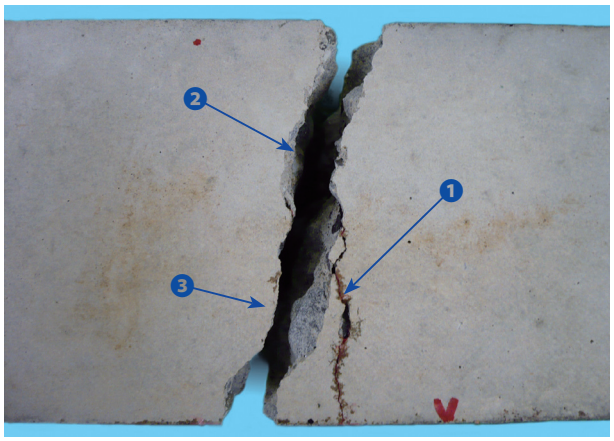


ひび割れ浸透後の状態（曲げ試験後）

供 試 体：ひび割れ部塗布5回（横向き浸透）
ひび割れ幅/0.2mm
試験条件：曲げ試験（23℃）







■曲げ試験・破壊後の供試体側面（下面にグラウトLVを塗布）
❶接着効果によりひび割れ部は未破壊（注入材浸透部）
❷ひび割れ部で破壊（注入材未浸透部）
❸ひび割れ部以外で破壊

施工法

❶ひび割れ部にグラウトLVを、ローラー刷毛等を用いて塗布します。

❷塗布したグラウトLVは、ひび割れに吸い込まれます。吸い込みがなくなるまで、繰り返しグラウトLVを数回塗布*します。この時、塗布部はひび割れ部周辺のみとします。

＊再塗布の回数は、ひび割れ下部にグラウトLVが溜まった状態（床版下面の場合）になるまでとします。ひび割れ内部の状態によりグラウトLVの吸い込みが違うため同一回数にはなりませんが、4～5回を目安としてください（使用量は、200～300g/mが目安です）。

■製造元
ショーボンドマテリアル株式会社
〒350-0833 埼玉県川越市芳野台2-8-10 TEL.049（225）5611（代表）
https://www.sb-material.co.jp

■販売元
ショーボンド建設株式会社
〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町7-8 TEL.03(6861)8101(代表)
https://www.sho-bond.co.jp

●取扱店

★品質改良のため、製品規格の一部を変更する場合がありますので、ご了承ください。

2022年 11月版